

理事長あいさつ

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会構成団体の皆さまには、福祉会運営ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。福祉会は定款に基づき、年度終了後3か月内に定時総会を開催しなければなりません。定時総会では、平成31（令和元）年度の事業と会計決算について、また令和2年度の事業案と予算案について皆様にご説明し、皆様からのご承認をいただくことになっております。ところが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため諸行事や集会の自粛がもとめられていることから、書面決議の方法にて皆さまにご意見をいただく方法に変更いたしました。法人として大切な総会であることに変わりはありませんので、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

さて、宮城県聴覚障害者情報センターは皆様のご協力のおかげで6年目を迎えました。センターの柱である情報の発信、相談支援、みみサポサロンや出前講座などの事業のほか、手話通訳者や要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員の養成研修、手話でいきいきセミナー（ろうあ者社会生活訓練）、難聴者等トータルコミュニケーション教室、盲ろう者向け生活訓練などの地域生活支援事業にも取り組んできました。平成31年度は手話通訳者登録試験において3名の合格、また盲ろう者通訳・介助員養成講座では14名の盲ろう者通訳・介助員が誕生しました。これは会員である皆様と連携・協力を測りながら事業を展開することができた成果だと思えます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染拡大に向けたさまざまな取り組みが行われています。法人としても、県内の聴覚障害者や盲ろう者、手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員の皆様に情報提供を行えるよう、13名の職員の雇用と健康を守りつつ、対策を進めております。「ステイホーム（おうちにいよう）」を合言葉に、感染拡大防止のための自粛が行われ、マスク着用のためにコミュニケーションに困難が生じる場面も増えました。そんな中、宮城県知事の新型コロナウイルス感染症に関する会見に手話通訳が導入され、テレビ中継が行われたり、ホームページで動画が公開されるなど、聴覚障害者の情報保障について大きな一歩もありました。現在、当法人の構成団体である宮城県聴覚障害者協会を中心に進められている「障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）」や「手話言語条例（仮称）」の制定に向けて、世論の関心を高めていく追い風になると感じています。

当会を支えていただいております会員の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年5月15日

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
理事長 小泉 正 壽

基調報告

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会は、宮城県の聴覚障害者情報提供施設を受託運営する法人とし設立し6年経過した。宮城県聴覚障害者情報センターの運営も順調で、自治体や福祉関係機関から信頼される事業所として定着し、盲ろう者向け通訳介助員の養成や派遣、電話リレーサービス、知事会見における手話通訳士の派遣など、事業も拡大してきた。法人の運営にあたっては理事会を4回開催し、構成団体（当事者団体、関係団体）の意見を運営に反映させている。また、各種規程を整理し、起案決裁など組織的合議により諸業務を執行している。賛助会員制度を継続し、8月には『サポーターズ通信』第3号と特別会員向け『平成30年度年次報告書』を発行した。福祉会サポーターズは賛助会員36名81口、特別会員13名13口、計301,000円と前年度より拡大した。また、障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）検討会に委員を派遣し、条例づくりに参画した。

宮城県聴覚障害者情報センターは、宮城県の受託事業として聴覚障害者情報提供施設と被災聴覚障害者情報等支援の二つの事業を担っている。事業内容は大きく分けて5つあり、①情報発信、②相談支援、③防災啓発、④意思疎通支援者の育成、⑤当事者の生涯学習・社会参加支援などである。手話動画を発行中心にホームページの閲覧数も増加傾向にあり、みみサポ通信や各地で開催されるみみサポサロンも好評を得ている。意思疎通支援者の養成・研修においては、昨年度同様、関係機関や各分野の専門家にご協力いただきながら、手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員の養成を行った。その成果として、手話通訳者登録試験（手話通訳者全国統一試験）において3名、手話通訳技能認定試験においては1名の合格者を輩出することができた。盲ろう者通訳・介助員養成においては新たに14名に登録証を授与した。一方、要約筆記者登録試験（全国統一要約筆記者認定試験）の受験申込みがなかったため、残念ながら今回は試験実施を見送った。宮城県知事会見に手話通訳を導入する計画があり、手話通訳士を対象とした事前研修を行ったが、折からの新型コロナウイルス関連の知事会見にあたり手話通訳が導入されることとなった。

みやぎ通訳派遣センターの運営においては、市町村が実施している意思疎通支援事業の受託とそれ以外の機関からの依頼に対応して手話通訳者および要約筆記者を派遣した。また、宮城県および仙台市から盲ろう者通訳・介助員派遣事業を受託し、盲ろう者通訳・介助員を派遣した。新型コロナウイルス感染者の受診に対する意思疎通支援者派遣については、感染防止・健康保持に十分留意しつつ対応した。また日本財団の助成を得て宮城県手話通訳指導者育成講座を開催した。全国手話研修センターに委託して「手話通訳 I 担当講師連続講座」を開催し、6名が修了証を手にした。電話リレーサービス事業については、札幌市視聴覚障がい者情報センターならびに福島県聴覚障害者情報支援センターと分担して業務にあたった。今後もオペレータの確保や研修に努め、県内外の聴覚障害者の通信における利便性の向上に貢献していきたい。電話リレーサービスは2021年度から公共インフラとして提供されることが決まった。

第1号議案	平成31（令和元）年度事業報告（案）を承認する件
-------	--------------------------

1. 法人事業

(1) 総会

定時総会（第7回）

令和元年6月22日（土）13：30～15：00

宮城県聴覚障害者情報センター 研修室

会員：出席5団体（8名）、議決権執行2団体

理事：出席10名、欠席2名

監事：出席 1名、欠席1名

議事：第1号議案 平成30年度事業報告（案）を承認する件

第2号議案 平成30年度会計決算（案）を承認する件

第3号議案 平成31（令和元）年度事業計画（案）を承認する件

第4号議案 平成31（令和元）年度会計予算（案）を承認する件

第5号議案 平成31（令和元）年度役員を選任する件

採択：すべて可決

(2) 理事会

第1回 令和元年6月22日（土）15：30～16：15

宮城県聴覚障害者情報センター 研修室

出席状況：出席10名、委任3名

議事：1. 協議事項

①平成31（令和元）年度活動方針・計画の確認について

②個人情報取り扱い規定について

2. その他

第2回 令和元年8月31日（土）13：00～16：00

宮城県聴覚障害者情報センター 研修室

出席状況：出席8名、委任5名

議事：1. 協議事項

①平成31（令和元）年度活動方針・計画の実施について

②個人情報保護方針（プライバシーポリシー）について

③個人情報保護規定について

④福祉社会就業規則の改正について

⑤令和2年度定時総会の日程について

2. 報告事項

①第1回障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）検討会（8月7日）について

②平成31（令和元）年度事業報告（4月～7月）

- ②平成31（令和元）年度会計執行状況報告（4月～7月）
 - ③福祉会サポーターズ状況報告（4月～7月）
 - ④第1回宮城県障害者社会参加推進協議会（7月10日）について
3. その他

第3回 令和元年11月9日（土）13:00～16:00

宮城県聴覚障害者情報センター 研修室

出席状況：出席8名、委任5名

議事：1. 協議事項

- ①福祉会就業規則改正案について
- ②福祉会パートタイマー就業規定改正案について
- ③障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）について
- ④ろう重複障害児の支援について
- ⑤令和2年度定時総会日程について

2. 報告事項

- ①平成31（令和元）年度事業報告（4月～9月）
- ②平成31（令和元）年度会計執行状況報告（4月～9月）
- ③福祉会サポーターズ状況報告（4月～9月）
- ④台風19号被災地への手話通訳者等の派遣について

3. その他

第4回 令和2年3月7日（土）

※新型コロナウイルス感染症対策として書面決議に振替

議事：1. 協議事項

- ①令和2年度定時総会について
- ②令和2年度事業計画について
- ③福祉会パートタイマー職員就業規則改正について

2. 報告事項

- ①クレジット決済の導入について
- ②平成31年度事業報告（4月～令和2年1月）
- ③平成31年度会計執行状況報告（4月～令和2年1月）
- ④福祉会サポーターズ状況報告（4月～令和2年1月）
- ⑤新型コロナウイルス感染症の対策について

3. その他

(3) 六役会

平成31（令和元）年度開催なし

(4) 宮城県障害者社会参加推進協議会

第1回 令和元年8月9日（金）10:00～12:00

宮城県障害者福祉センター 大会議室

出席：及川、松本

内容：①共生条例及び手話言語条例制定についての意見交換

②役員改選について

③その他

第2回 令和2年2月14日（金）13：30～15：30

宮城県障害者福祉センター 図書室

出席：松本

内容：①障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）について

②その他

(5) 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

①総会および大会／松本

令和元年6月22日（木）～23日（金）

ホテル信濃路、長野市生涯学習センター（長野県長野市）

②北海道・東北第1ブロック活動研修会／松本ほか

令和元年11月1日（金）

宮城県聴覚障害者情報センター

(6) 宮城県障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）検討会

第1回 令和元年8月7日（水）仙台市福祉プラザ / 細川

①条例の構成について

②条例の目的、基本理念について ほか

第2回 令和元年9月5日（木）仙台市福祉プラザ / 細川

①条例に規定する定義について

②関係者の責務・役割について

第3回 令和元年10月18日（金）仙台市福祉プラザ / 細川

①障害を理由とする差別の禁止について

②合理的配慮の提供義務について

第4回 令和元年11月14日（木）TKPガーデンシティ仙台勾当台 / 細川

①相談体制について

②助言あっせんについて

第5回 令和元年12月23日（月）仙台市福祉プラザ / 細川

①情報保障について

②意思疎通支援について

第6回 令和2年1月23日（木）TKPガーデンシティ仙台勾当台 / 細川

①報告書（案）について

報告書の提出 令和2年2月10日（月）宮城県庁 知事応接室 / 細川

(6) 研修等への職員派遣

①宮城県障害者福祉関係施設等職員研修会／佐藤

令和元年6月27日(木) 宮城県障害者福祉センター(宮城県)

②東北ろうあ者相談員連絡協議会 研修会／庄子

令和元年7月19日(金) 岩手県視聴覚障害者情報センター(岩手県)

③意思疎通支援担当者研修会／櫻井

令和元年7月24日～26日 全国手話研修センターほか(京都府)

④聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会／中村、福元

令和元年11月13日～15日 岩手県立視聴覚障がい者情報センター(岩手県)

⑤電話リレーサービスオペレーター担当者研修会／福元、高田

令和2年1月25日～26日 長野県聴覚障害者情報センター(長野県)

(7) 賛助会員制度「福祉会サポーターズ」(別紙1)

- ・賛助会員(一口1,000円 全81口／36名)
- ・特別会員(一口10,000円 全22口／13名・団体)

(8) 手話通訳指導者育成事業(日本財団助成事業)(別紙2)

- ・対面学習会 4回
- ・手話通訳者現任研修会におけるOJT 1回
- ・手話通訳I養成講師連続講座 8回

(9) みやぎ通訳派遣センター事業(別紙3)

- ①市町村と意思疎通支援事業(手話通訳派遣・要約筆記派遣)の受託契約をし、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。(要約筆記派遣については一部の市)
- ②意思疎通支援事業広域派遣(県外からの依頼)に対応して、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。
- ③宮城県および仙台市と盲ろう者通訳・介助員派遣事業の受託契約をし、盲ろう者通訳・介助員を派遣した。
- ③意思疎通支援事業以外の通訳依頼に対応して、手話通訳者・要約筆記者・盲ろう通訳・介助員を派遣した。

(10) 電話リレーサービス事業(別紙4)

厚生労働省から札幌市が受託した事業について、福島県とともに共同で実施した。手話通訳による件数は1,169回、文字による件数は1,374件、合計2,543件となり前年度より大幅に利用件数が増えた。

(11) Net119緊急通報システム登録説明会(通訳支援等)業務

石巻地区広域行政事務組合が実施する登録説明会の運営について協力した。

2. 宮城県受託事業等

(1) 宮城県聴覚障害者情報センター運営事業（別紙5）

- ・情報発信（手話動画の配信、情報保障付きイベント情報の発信、みみサポ通信の発行等）
- ・相談支援（個別相談、巡回相談会等） 等

(2) 被災聴覚障害者情報等支援事業（別紙6）

- ・情報発信（手話動画の配信、みみサポ通信の発行等）
- ・相談支援（個別相談、巡回相談会等）
- ・みみサポサロンの開催
- ・防災に関する取り組み 等

(3) 手話通訳者養成研修等業務（別紙7） ※宮城県障害者社会参加推進センター委託事業

- ① 盲ろう者通訳・介助員派遣業務
- ② 盲ろう者通訳・介助員養成研修業務
- ③ 盲ろう者向け生活訓練業務
- ④ 手話通訳者養成研修業務
- ⑤ ろうあ者社会生活訓練業務
- ⑥ 字幕入り映像ライブラリー貸出業務
- ⑦ 難聴者のトータルコミュニケーション教室開催業務
- ⑧ 手話通訳者等派遣ネットワーク業務
- ⑨ 要約筆記者養成研修業務

3. 仙台市受託事業等

(1) 仙台市盲ろう者通訳・介助員派遣事業（別紙8）

第2号議案

平成31（令和元）年度会計決算（案）を承認する件

- 1 平成31（令和元）年度決算
貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書（別紙9）

- 2 平成31（令和元）年度 監査報告書（別紙10）

1. 法人事業

(1) 総会

令和2年度定時総会（第8回）

6月6日（土） 宮城県聴覚障害者情報センター ※書面決議

(2) 理事会／全4回

第1回 6月 6日（土） 宮城県聴覚障害者情報センター ※書面決議

第2回 9月 5日（土） 宮城県聴覚障害者情報センター

第3回 12月19日（土） 宮城県聴覚障害者情報センター

第4回 3月20日（土） 宮城県聴覚障害者情報センター

(3) 六役会議／適宜

(4) 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

6月 総会および大会／北海道・東北第1ブロック会議（福岡県）※中止

11月 北海道・東北第1ブロック研修会（宮城県）

(5) 研修等への職員派遣

7月 東北ろうあ者相談員連絡協議会研修会（岩手県）

7月 意思疎通支援担当者研修会（京都府）

11月 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会（新潟県）

1月 第34回全国ろうあ者相談員研修会

(6) 宮城県障害者社会参加推進協議会

第1回 未定

第2回 未定

(7) 賛助会員制度「福社会サポーターズ」

4月 会費のクレジットカード決済の導入

リーフレットのリニューアル

7月 個人会員向け「サポーターズ通信」第4号 発行

7月 特別会員向け「平成31（令和元）年度年次報告書」発行

随時 ホームページで特別会員を「サポーターズ」として掲載

(8) 手話通訳指導者育成事業（日本財団助成事業）

7月～3月 対面学習会（全6回）

8月～3月 手話通訳者Ⅱ養成担当講師連続講座（全8回）

(9) みやぎ通訳派遣センター事業

- ①市町村と意思疎通支援事業（手話通訳派遣・要約筆記派遣）の受託契約をし、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。（要約筆記派遣については一部の市）
- ②宮城県および仙台市と意思疎通支援事業（盲ろう者通訳・介助員派遣）の受託契約をし、盲ろう者通訳・介助員を派遣する。
- ③意思疎通支援事業広域派遣（県外からの依頼）に対応して、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。
- ④意思疎通支援事業以外の通訳依頼に対応して、手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者通訳・介助員を派遣する。

上記事業については、みやぎ通訳派遣センター担当の職員を配置して対応する。

(10) 電話リレーサービス事業

厚生労働省から札幌市が受託した事業について、福島県とともに共同で実施する。

2. 宮城県受託事業等

(1) 宮城県聴覚障害者情報センター運営事業

- ・情報発信（手話動画の配信、情報保障付きイベント情報の発信、みみサポ通信の発行等）
- ・相談支援（個別相談、巡回相談会等） 等

(2) 被災聴覚障害者情報等支援事業（宮城県）

- ・情報発信（手話動画の配信、みみサポ通信の発行等）
- ・相談支援（個別相談、巡回相談会等）
- ・みみサポサロンの開催
- ・つながりづくり（出前講座の実施等） 等

3. 宮城県障害者社会参加推進センター受託事業（宮城県地域生活支援事業）

(1) 手話通訳者養成研修等業務

- ①盲ろう者通訳・介助員派遣業務
- ②盲ろう者通訳・介助員養成研修業務
- ③盲ろう者向け生活訓練業務
- ④手話通訳者養成研修業務
- ⑤ろうあ者社会生活訓練業務
- ⑥字幕入り映像ライブラリー貸出業務
- ⑦難聴者のトータルコミュニケーション教室開催業務
- ⑧手話通訳者等派遣ネットワーク業務
- ⑨要約筆記者養成研修業務

3. 仙台市受託事業等

(1) 盲ろう者通訳・介助員派遣事業

第4号議案	令和2年度会計予算（案）を承認する件
-------	--------------------

1 令和2年度予算案（別紙11）

第5号議案	令和2・3年度役員を選任する件
-------	-----------------

1 令和2・3年度役員案

■ 理事候補者

■ 監事候補者